

歯周病の予防（前号のおさらい）

歯周病とは読んで字の如く、「歯の周りの病気」。歯周病を引き起こす細菌の感染により、歯ぐきや歯を支えている骨がダメになっていく病気でした。一連の処置を行うことにより、この原因細菌を除去し、症状を改善させ進行をくい止めるのが、歯周病治療であること。つまり歯周病治療のゴールは、あくまでも歯ぐきや骨を元通りに戻す（再生）のではなく、これ以上悪くしないということについては前号までにご紹介させていただきました。しかしながら、治療技術の進歩により、少しずつですが健康な元の状況に近づける治療（再生治療）が可能となってきました。今回号では、今ホットなこれらの歯周病の最新治療をご紹介します。

一般的な歯周外科（フラップ）手術



深い歯周ポケット、骨の吸収があるような中等度以上の歯周病の場合は、歯の根の周りの掃除を行っても完全に汚れが除去できないので、歯と歯ぐきの間に切れ目を入れて歯ぐきを剥がし、歯の根の周りを綺麗にしたり腫れている部分の歯ぐきを取り除く歯周外科手術を行うのが一般的です。この処置を行うことにより歯周ポケットが浅くなり歯ぐきの腫れも無くなるのですが、歯の周りが元通りに治る訳ではないので、時として骨が溶けている部分まで歯ぐきが下がり、歯の根が出てしまう事があります。

歯周組織再生治療

従来の歯周外科手術では出来なかった失われた組織を取り戻し、少しでも元通りの状態に戻す治療法を歯周組織再生療法と呼びます。そのうちのいくつかの方法をご紹介します。



①GTR法

フラップ手術を行った後に、テフロン（ゴアテックス）製の膜を置くことによって、歯ぐきが下がることを防ぎ、膜の下に新しい組織の再生を促します。膜を設置して一ヶ月ほど経たところで、膜を除去する手術が必要です。

GTR法



歯周病の状態 ゴアテックス膜の設置 歯周組織再生
(ジャパンゴアテックス株式会社 GTRパンフレットより引用)
(ジャパンゴアテックス株式会社 <http://www.jgoretex.co.jp/dental/main.main.html>)

②エムドゲイン法

スウェーデンの研究グループによって、歯が生えてくる（作られる）過程で重要な役割を果たす物質である「エナメルマトリックス蛋白」が発見されました。この治療法は「子供の時に歯が出来るメカニズム」を、歯周組織再生に応用することを治療コンセプトとしています。

エムドゲイン法



(生化学工業株式会社 エムドゲインパンフレットより引用)
(生化学工業株式会社 <http://www.seikagaku.co.jp/dental/ocare/emdo/index.html>)

フラップ手術を行った時に、幼若ブタから抽出されたエナメルマトリックス蛋白を入れて再生を促します。

③自家骨移植法

この治療法は、口の中の他の部分から骨を取ってきて、骨が溶けてしまった部分に埋めることで、再生を促します。

最後に

歯周組織再生治療は現段階ではその適応症例に限りがあり、全ての場合に応用できるわけではありません。またその治療効果は歯周病の重症度、骨吸収の状況に加えて、手術を受ける方の生活習慣（喫煙やストレスなど）や日頃の口腔内の衛生状態管理に大きく左右されます。